

◆統計情報◆

# 令和7年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量

令和7年産の収穫量は、高温・少雨の影響により、  
前年産に比べ、全国で8%減少、北海道で10%減少

## 【調査結果の概要】

### 1 全国

作付面積は6万7,000haで、前年産に比べ1,700ha（2%）減少した。

10a当たり収量は3,100kgで、前年産を190kg（6%）下回った。

これは、北海道において高温により着いも数が減少したことや、茨城県において少雨により発芽不良が散見されたこと等による。

収穫量は207万4,000t、出荷量は177万2,000tで、前年産に比べそれぞれ18万9,000t（8%）、17万5,000t（9%）減少した。

### 2 北海道

作付面積は4万8,200haで、前年産に比べ500ha（1%）減少した。

10a当たり収量は3,510kgで、前年産を330kg（9%）下回った。

これは、6月の高温により着いも数が減少したことに加えて、いもの肥大期が少雨で経過し小玉傾向となったことによる。

収穫量は169万2,000t、出荷量は150万4,000tで、前年産に比べそれぞれ17万8,000t（10%）、17万6,000t（10%）減少した。

図1 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

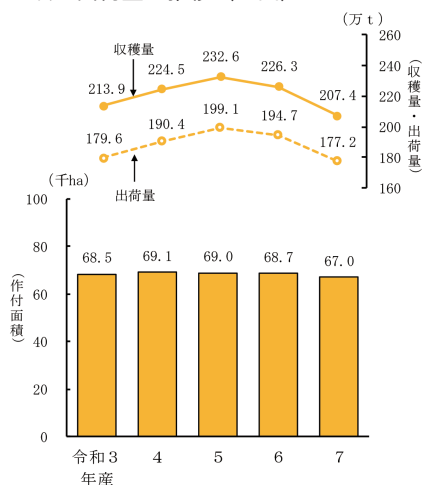
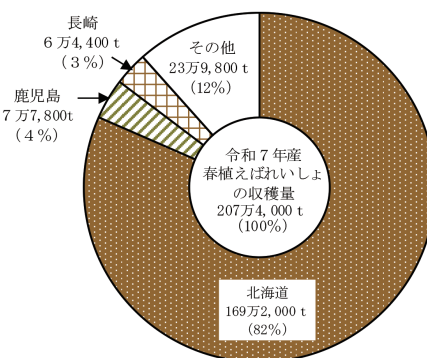


図2 春植えばれいしょの都道府県別収穫量及び割合



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

※令和8年2月10日に農林水産省大臣官房統計部から発表された資料から抜粋・編集している。詳細は、同省のホームページ「統計情報の」以下のURLに掲載されている。

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_yasai/pdf/syukaku\\_barei\\_25.pdf](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/pdf/syukaku_barei_25.pdf)